

報道関係者各位

2025年1月20日
株式会社 Ridge-i

AI・ディープラーニング技術開発のリッジアイと AI ソリューションプロバイダのジーデップ・アドバンス、 LLM 開発システム「ローカル RAG スターターBOX」を共同開発・受注開始

LLM・RAG 開発に最適な NVIDIA GPU 環境とサポートを提供し、
クローズドな環境での機密性の高いデータを用いた開発が可能に



AI・ディープラーニング技術のコンサルティングと開発を行う株式会社 Ridge-i（本社：東京都千代田区、代表取締役 社長：柳原 尚史、以下「リッジアイ」）と、AI とビジュアライゼーションのソリューションカンパニーである株式会社ジーデップ・アドバンス（GDEP Advance, Inc. 本社：東京都中央区、代表取締役 CEO：飯野 匡道、以下「ジーデップ・アドバンス」）は共同で、オンプレミス環境でユーザー固有の文書やデータを活用した RAG を実装することで、より手軽・迅速・安全な大規模言語モデル（LLM）開発を可能にするシステム「ローカル RAG スターターBOX」を共同で開発し、2025年1月20日より受注を開始しました。

■ローカル RAG スターターBOX が生まれた背景

国内の生成 AI 市場は 2028 年度に 1 兆 7397 億円規模になると予測され、2023 年度比で 12.3 倍となり AI 市場のおよそ 6 割が生成 AI になると予測されています（富士キメラ総研「2025 生成 AI/LLM で飛躍する AI 市場調査」による）。

生成 AI の中でも、大規模言語処理モデルと呼ばれる LLM の注目は高く、様々な業種業態で積極的な活用が進み始めています。また、正確で最新の情報が格納されたデータを読み込ませることで、LLM を特定のニーズ・専門性に対応させたり、ハルシネーション（事実に基づかない情報が生成される事象）を抑制する RAG（Retrieval-Augmented Generation）と呼ばれる技術の研究開発も発展してきています。

しかし、LLM および RAG の開発にあたって、クラウド利用では様々な課題があります。これまでにリッジアイおよびジーデップ・アドバンスには、研究開発時にクラウドサービスを無制限に利用してしまい膨大な金額になってしまった相談や、LLM・RAG の環境構築に関する相談、データをクラウド上にアップロードすることによるセキュリティの相談などを多く受けてきました。特に、RAG の運用にあたって企業や研究機関が保有する機密性の高い学習データをイントラから外に出すことに、安全上の様々な懸念が多いのが現状です。

これらの課題解決のために生まれたソリューションが「ローカル RAG スターターBOX」です。

■ ローカル RAG スターターBOX について



国内トップクラスの NVIDIA GPU 搭載システムの販売実績を有するジーデップ・アドバンスと、LLM アプリケーションの開発や高速化など数々の AI 開発実績を誇るリッジアイの 2 社が共同開発した「ローカル RAG スターターBOX」は、LLM・RAG の研究開発に最適なハードウェアとライブラリを予め用意しており、届いたその日から、クラウド接続が不要なローカル環境上での LLM の利用や、ユーザー固有の文書やデータを活用した RAG の実装をすぐに始められるシステムです。

ハードウェアのサポートだけでなく、リッジアイの AI 開発に関する Q&A が利用できるバウチャーチケットが付属していますので、AI 専門家からのサポートを受けながら、機密性、正確性、リアルタイム性が担保された、より精度の高い LLM・RAG の構築を行うことが可能になります。

GPU には NVIDIA Ada Lovelace アーキテクチャを採用した RTX Ada シリーズを搭載。最大 48GB の GDDR6 メモリと広帯域な NVLINK（マルチ GPU 時）を組み合わせることにより高い AI 学習性能及び推論性能を実現。開発環境には Dify OpenWebUI と Ollama Xinfernce を実装し、AI モデルには 2024 年に発表された Llama 3.1 をはじめとした複数のモデルをプリインストールしています。

■ ローカル RAG スターターBOX 製品 URL

https://www.gdep.co.jp/local_rag_starterbox/

■ ローカル RAG スターターBOX の特徴

- **セキュアなローカル環境**
ユーザーのデータをローカル環境内に留め外部へ持ち出さないため、情報漏えいリスクを最小化。厳格なセキュリティポリシーが求められる業種でも安心して導入が可能です。
- **短期導入・即運用可能**
LLM/RAG 開発に適したハードウェアシステム構成に加え、AI システム開発環境として Dify OpenWebUI と Ollama Xinfernce を実装し、AI モデルには 2024 年に発表された Llama 3.1 をはじめとした複数のモデルを複数プリインストール。最短時間で基本機能が稼働し、迅速に業務への導入が可能です。

- **安心の Q&A チケット**

LLM アプリケーションの開発や高速化など数々の AI 開発実績を誇るリッジアイのバウチャーチケットが付属していますので、初期セットアップ済みの LLM/RAG 開発環境の操作方法について不明な点は、Q&A サポートを受けながらスムーズな導入が可能です。

- **抜群のコストパフォーマンス**

LLM/RAG の開発環境プリインストールだけではなく導入 Q&A チケットも付帯して、エントリーモデルが 1,998,000 円（税別・送料別）からという手頃な価格設定としています。ビジネスへの AI 活用をスムーズにスタートできます。

- **他に類を見ない拡張性と柔軟性**

GPU カードの交換や増設など、予算に合わせてマシンパフォーマンスの向上が可能です。また、ハードのみならず、PoC 推進のために本格的なコンサルテーションや開発をセット提供できるよう柔軟なオプションと提供形態を用意しています。

■ ローカル RAG スターターBOX の価格と仕様

モデル	エントリーモデル	スタンダードモデル	ハイスペックモデル
価格（税抜き）	¥1,998,000	¥2,788,000	¥4,678,000
CPU	1x Xeon w5-2555X 12C/24T 3.2GHz	1x Xeon w5-3535X 20C/40T 2.9GHz	1x Xeon w5-3535X 20C/40T 2.9GHz
GPU	1x RTX 4500 Ada 24GB	1x RTX 6000Ada 48GB	3x RTX 6000Ada 48GB
OS	Ubuntu 24.04 LTS		
RAG・LLM 環境			
モデル	エントリーモデル	スタンダードモデル	ハイスペックモデル
UI/AI 開発ツール	Dify OpenWebUI		
AI モデル実行ツール	Ollama Xference		
生成 AI モデル	Meta Llama 3[8B モデル] Microsoft Phi-3[3.8B モデル] Google Gemma 2[9B モデル] Meta llama3.1[8B モデル]	Meta Llama 3 [8B / 70B モデル] Microsoft Phi-3 [3.8B / 14B モデル] Google Gemma 2 [9B / 27B モデル] Meta llama3.1 [8B / 70B モデル] Microsoft Phi-4[14B モデル]	
Embedding モデル	nomic-embed-text		
Reranking モデル	bge-reranker-v2-m3		
サポートチケット	サポートチケット 3 枚		

※仕様、生成 AI モデル等は変更する可能性があります

■ ローカル RAG スターターBOX のユースケース

● 社内問い合わせ対応の効率化

社内 FAQ や技術マニュアルを参照させ、「製品 A の仕様は？」「手続き B はどこに記載？」といった質問に即座的な回答が可能。問い合わせ窓口やサポート担当者の負担を軽減します。

● 製品開発・設計支援

過去の設計書、トラブルシュート事例、技術ドキュメントを参照して、新規プロジェクト時に関連情報を自動的に引き出し、開発効率を向上します。

● 営業・企画部門での提案資料作成補助

過去の提案書、顧客要望リスト、成功事例集から必要な情報をスピーディに抽出し、提案資料作成を迅速化。担当者は付加価値の高いアイデア創出にリソースを集中できます。RLHF 的な強化学習のオペレーションも可能です。

■ ジーデップ・アドバンス 代表 飯野匡道のメッセージ

ジーデップ・アドバンスは長年のビジネスパートナーであるリッジアイと共同で「ローカル RAG スターターBOX」を提供する運びとなりました。

自社で保有している機密性の高い学習データを保護し、セキュアな環境で精度の高い LLM を開発したいという多くのユーザーの声を受け、社会課題、顧客課題の解決を通じて社会の発展に寄与したいという同じ想いを持った両社が、強みを持ち寄り開発したプロダクトです。今後も連携を密にし、大きく成長する AI 市場において多様なソリューションをスピード感を持って提供してまいります。

■ リッジアイ 代表 柳原尚史のメッセージ

このたび、リッジアイとジーデップ・アドバンスとの共同検討により、AI 業界の課題解決に向けた「ローカル RAG スターターBOX」が誕生しました。ジーデップ・アドバンスの NVIDIA GPU ハードウェアの知見と、リッジアイの AI 開発ノウハウを融合し、信頼性の高い開発環境を実現しました。利用者が安心して AI 活用できるプラットフォームを提供し、AI の社会・ビジネス活用を迅速かつ安全に推進するための環境となることを期待しています。今後もパートナーシップを強化し、業界全体の発展に寄与してまいります。

以上

ジーデップ・アドバンスについて

株式会社ジーデップ・アドバンス（東証スタンダード、証券コード：5885）は、「Advance with you」をミッションに、GPGPU をはじめとするアクセラレーターやハイエンドワークステーション、広帯域ネットワークや高速ストレージを用いたクラスターシステム、さらにライブラリやコンパイラ、ジョブスケジューラなどの運用ツールの提供構築から運用支援まで、仕事や研究を前に進めるための手段をオンプレミスやレンタル、クラウドなどあらゆる形態で総合的に提供する AI とビジュアライゼーションのソリューションプロバイダです。NVIDIA 社の「NPN（NVIDIA Partner Network）」においてエリートパートナーとして活動しています。URL：<https://www.gdep.co.jp/>

リッジアイについて

株式会社 Ridge-i（東証グロス、証券コード：5572）は、AI・ディープラーニング技術を活用したソリューションにより、経営・社会課題の解決に挑むテックイノベーションファームです。特に、画像解析ディープラーニング、センサーによる異常検知

AI、最適化 AI など様々なデータに対応する AI を組み合わせた「マルチモーダル AI」に強みを持ちます。戦略策定から要件定義フェーズに始まり、現場のコンサルテーションから開発・運用保守まで、投資対効果を実感するまで一気通貫で伴走し、多くの実績をあげています。また社会課題にも積極的に取り組んでおり、SDGs 課題と環境変化を衛星画像から発見する「GRASP EARTH」などで第 4 回から宇宙開発利用大賞を 3 回連続受賞しました。今後とも技術とビジネスの高みを追求し、社会・顧客が持続的に効果を実感できる最高峰のソリューションを提供します。

会社名： 株式会社 Ridge-i

設立： 2016 年 7 月

所在地： 東京都千代田区大手町 1-6-1 大手町ビル 438

代表： 代表取締役社長 柳原 尚史

資本金： 22,551,500 円

事業内容：

- ① AI・ディープラーニング技術のコンサルティングおよび開発
- ② 共同事業、ライセンス、保守モデル、自社開発等によるプロダクトの提供
- ③ 人工衛星データ AI 分析サービスの提供

URL：<https://ridge-i.com>

【製品、サービスに関するお問い合わせ先】

株式会社ジーデップ・アドバンス ソリューション部

E-mail：sales@gdep.co.jp

【報道関係からのお問い合わせ先】

株式会社 Ridge-i 大沢、中井

e-mail：pr@ridge-i.com

共同ピーアール株式会社（広報代行）

担当／電話 本田 江代（070-4303-7350）、竹村 良子（080-8870-0347）、児玉 千尋（070-4303-7256）

e-mail：Ridge-i-pr@kyodo-pr.co.jp